

第72期事業報告書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。

(2022年6月1日より2023年5月31日まで)

過去3年に引き続き、COVID-19の感染状況により事業活動の変更を余儀なくされた。

1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

- 当期はCOVID-19感染拡大防止の観点から「自然科学書協会講演会」ならびに「サイエンスカフェ」の開催を見送ったが、来期は感染等の影響を受けないオンラインリモート形式での開催を目指している。当期はその実現に向けた準備期間に充てた。

2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

- 文字・活字文化推進機構等の活動に協調し、日本書籍出版協会をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。
- 「自然科学書フェア2022」を開催した。
 - ・期日：2022年4月20日（水）～6月19日（日）
 - ・会場：紀伊國屋書店札幌本店
 - ・テーマ：「未来への架け橋 知識の泉 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：50社（前回51社）
 - ・出品：1,180点 2,599冊（前回972点 2,374冊）
 - ・販売実績：436点 866冊 2,442,985円（前年238冊 658,085円）
- 「自然科学書フェア2023」を開催した。
 - ・期日：2023年3月1日（水）～5月31日（水）
 - ・会場：函館 蔦屋書店
 - ・テーマ：「未来への架け橋 知識の泉 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：51社（前年50社）
 - ・出品：1,187点 2,396冊（前年1,180点 2,599冊）
- 海外のブックフェアは諸条件が合わず出展は見送った。
- 和文名簿を当会ホームページで公開し、協会活動と出版活動の周知を図った。

3. 著作権の普及と啓発

- 著作権の保護並びに著作物の適正利用を推進する活動を行った。
 - ・図書館資料の複製・公衆送信に関わる著作権法第31条改正に伴う補償金管理団体となる図書館等公衆送信補償金管理協会（SARLIB）の設立とそれに伴う運用ガイドライン策定作業、補償金額検討作業に参加した。
 - ・授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）の運営やその構成団体である出版

教育著作権協議会の運営に参加した。

○その他、著作権に関連した活動を行った。

- ・出版者著作権管理機構（JCOPY）の構成団体の一員として運営に協力した。

4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員社に対して当該表彰候補を募集したが、期日までに応募はなかった。

5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○例年出版梓会と協賛している東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「出版・印刷人の集い」は COVID-19 の感染拡大を受けて主催者が中止を決めたため開催には至らなかった。

○当協会主催(或いは共催)で、オンラインリモート形式による研修会を4回開催した。

- ・日時：2022年9月6日（火）15：00～16：00
- ・開催形式：Zoomによるオンライン形式
- ・講師：林 剛史 様（株式会社メディアドゥ 出版ソリューション事業本部）
- ・演題：「コロナ禍において成長する電子図書館市場」
- ・参加者：68名

※工学書協会との共催

- ・日時：2022年9月21日（水）14:00～15:30
- ・開催方式：Zoomによるオンラインリモート形式
- ・講師：大沼様 ほか（日本出版インフラセンター 出版情報登録センターThema 対応部会）
- ・演題：「JPRO 出版情報センターへの『国際分類』Thema 登録方針について」
- ・参加者：62名

※工学書協会との共催

- ・日時：2023年4月4日（火）15：00～16：00
- ・開催形式：Zoomによるオンライン形式
- ※講演後に期間限定（4月21日迄）で、会員社向けにYou tubeにて限定配信を行った。
- ・講師：佐藤大樹様（株式会社とうこう・あい HONDANA スマーケティングチーム・チームリーダー）／平野公博様（株式会社とうこう・あい WEB 広告チーム・チームリーダー）
- ・演題：「出版業界における最新のWebマーケティング実例からみるWeb

広告とファンマーケティング手法」

- ・参加者：40名

- ・日時：2023年4月21日（金）15：00～16：00
- ・開催形式：Zoomによるオンライン形式
- ・講師：宗和税理士法人 税理士 星野正史先生
- ・演題：インボイス制度移行後の留意点
- ・参加者：38名

6. 広報誌等の編集発行及びホームページの管理運営

○電子版会報を年4回（今年度は7・11・1・4月）発行した。また、ホームページでも公開した。

主な記事は

- ① 理事会の動向や決定の周知
- ② 各委員会活動の報告
- ③ 自然科学書フェアの告知ならびに報告

○ホームページの全面リニューアルを行った。

○ホームページを常に最新の状態にして、外部への情報発信を行った。

- ・協会の概要を掲載し、常に更新した。

7. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

○日本書籍出版協会と連携し、出版物に対する軽減税率適用に向けて働きかけを継続していく。

○出版界で行う諸事業（全出版人大会の開催、出版平和堂の活動など）に協力した。

- ・2023年5月8日（月）に、第62回全出版人大会が、COVID-19の感染予防策を取りつつホテルニューオータニで4年ぶりに懇親会も含めて開催され、協賛団体としてこれに協力した。

- ・2022年10月7日（金）に、出版平和堂第54回出版功労者顕彰会が執り行われ、出版平和堂維持団体として運営に協力した。

○今期の活動状況を業界紙等に報道依頼し、活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上

事業報告附属明細書

該当なし